

# 代表質問



清風会  
林 太樹 議員

## SDGsジェンダー平等の推進について

**問** 2030年に向けた国際社会が目指すジェンダー平等の鯖江型ロールモデル構想とは。

**答市長** SDGsは今後10年間のロードマップで進めていく。ジェンダー平等は日本では遅れているので、自主的選択的な取組で、SDGsNo.5のジェンダーフリーと女性のエンパワーメントを国内・世界に鯖江のロールモデルを発信したい。国連とのパートナーシップによるプロジェクト実現のための拠点として「女性資料館」の設置や国際的女性会議の誘致などに取り組んで行く。

## 公共交通の整備について

**問** 新幹線敦賀開業における国の特急存続に不可欠な接続線整備の見解は。

**答市長** 敦賀駅特急乗入口から並行在来線への接続線整備には、支障物件の撤去や建設費での課題がある。未だ国やJRからは事業費の提示はなく、議論も

行われていない。23年春の開業時には接続線の実現は困難で、開業後も極めて難しいと受け止めている。

**問** 利便性確保のため特急存続代替案の新快速列車運行実現の運動展開は。

**答市長** 速達性のある新快速の運行は、代替案の一つと考えている。特急存続は難しい状況だが、「しらすぎ」は市民団体の要望運動が続いており、「サンダーバード」はFGTを断念した国の責任で存続措置をオール福井の取組として、県から国・JRとの交渉をしていただいているとのことなので、代替措置を引き出すために本市としてはあくまでも特急存続の声を強く上げ続けるべきと考えている。

## 国民健康保険税率見直しについて

**問** 新国保制度での県下保険料統一に基づいた今後の税率改正の進め方は。

**答** 2018年度から県が保険者となり財政運営の責任主体を担うことになった。県は保険料水準の将来的な県下統一を謳っている。保険料算定は資産割を廃止した4方式から3方式への段階的移行を進めていきたい。今後の税率改正は、国の社会保障政策や県内市町の対応も考慮しながら、被保険者の給付と負担のバランスがとれた適正なものになるよう国保基金の活用を含め、市国保運営協議会に諮り、国保会計の健全な運営を進めたい。



### 一般質問とは…

市のさまざまな課題等について、議員が市長や理事者に考えを聞くものです。

議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。



10人が  
登壇  
しました!

ここが  
聞きたい!

# 第422回 12月定例会 一般質問



清風会  
林下 豊彦 議員

## 市民タクシーについて

**問** タクシーの配車サービスが行き届かなくなっている河和田地区で導入を考えている有償ボランティアによる市民タクシーとはどのようなものか。

## 早稲田保育所の活用について

**問** 早稲田保育所の利用について、新子育て支援センターとして活用し、より多くの親子が気軽に集えるように全天候型の遊技場を整備し、発達の気がかかりなお子さんにも対応できる児童発達支援センターの機能も設けるとあるがどのように整備する計画か。

## 眼鏡産業活性化について

**問** 眼鏡産業活性化についてどのような支援を行い、その結果はどのようなになっているか。

**意見** 私の行ったアンケート結果から、めがねのまち鯖江の知名度は上がっているが、眼鏡産業従事者の仕事に対する誇りや将来に対する不安があるように思う。市民に向けた支援も必要ではないか。

